

特別の教科道徳 学習指導略案

- 1 主 題 誰もが生きやすい社会の在り方について考えよう  
 2 ね ら い 多様な性に対して悩むマイノリティの事例に触れ、見識を広めたり深めたりする中で、誰もが生きやすい社会の在り方について考えをもたせる。  
 3 人権教育の内容 差別と人権問題についての学習 2-(2)-ア  
 4 展 開

	学習内容	主な発問と予想される答え	指導上の留意点
導 入	1 「みんなが生きやすい社会」について考える	○ みんなが生きやすい社会とはどのようなものでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全安心な社会</li> <li>・ 差別されない社会</li> <li>・ 裕福な社会</li> </ul>	○ 社会の在り方について考えることを意識させる。自由に発言させる。
展 開	本時の目標：誰もが生きやすい社会について、考えをもつことができる		
	2 資料1『それぞれの思い』を読み、話し合う。	○ AさんやBさんはなぜ生きづらさを感じているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周囲の反応が気になる</li> <li>・ 自分に合った環境がなく我慢が必要</li> </ul> 主発問 ○ どうすればAさんやBさんは生きやすくなるのでしょうか。 1回目 個人への投げかけ 2回目 資料2や補助発問を経て深める <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人が考え方を変える</li> <li>・ 違いを受け入れる</li> <li>・ 互いを理解する</li> <li>・ 言動に配慮する</li> <li>・ 互いを理解するために学ぶ</li> </ul> 補助発問	○ AさんとBさんの事例を見ながら、悩みの根本がどこにあるのか考えさせる。そのとき、当事者や周囲の人達を悪者のように扱う流れは避けたい。  ○ 難しい質問なので、どんな意見でも一度は受け止める。
	3 資料2を読み、話し合う。	○ (資料2の) この人はなぜ救われたのでしょうか ※ 個人で考えさせたあと、再び主発問に戻る。	○ 周囲の理解がその人の人生を良いものにする可能性があることを理解させる。
ま と め	4 本時をふりかえり、感想を書く。	○ みんなが生きやすい世の中とはどのようなものか、意見を含めて本時の感想を書きましょう。	○ 全体で共有するふり返りの時間を設ける。 ○ 感想には、授業で深めたことや新たな気づきを明確に書くように指示する。